

平成25年度当初予算

「豊かな資源が織りなす食と健康のまち」づくり

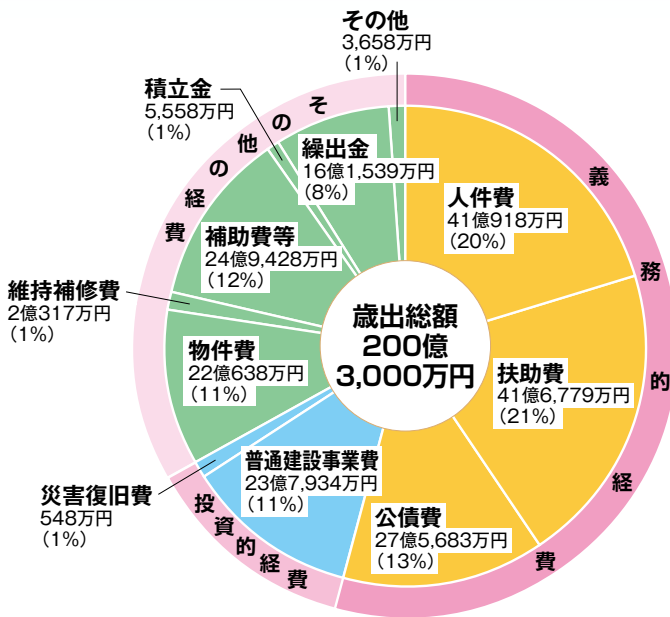
一般会計歳入歳出総額

200億3,000万円

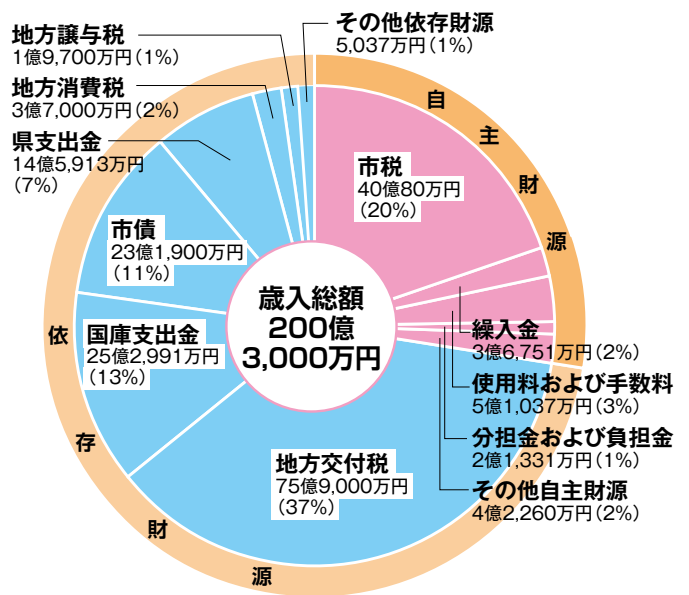
指宿市平成25年度当初予算が平成25年第1回市議会定例会で審議され、3月28日に可決成立しました。一般会計当初予算額は、200億3,000万円となり、前年度と比較して0.9%、1億8,500万円減の予算です。その他、特別会計が144億471万円、企業会計が11億8,769万円です。総額356億2,240万円となっています。

行財政改革を的確に進めながら、市民の安全・安心な暮らしを守るまちづくり、地域経済等の活性化と雇用の確保、観光および農業等の基幹産業の振興、市民の健康と福祉の充実、教育・スポーツ・文化の振興、国民健康保険特別会計への財政支援など、新たな行政・地域課題にも重点配分を行うなど、市民生活を重視した予算としました。

●歳出の性質別分類の状況（一般会計）



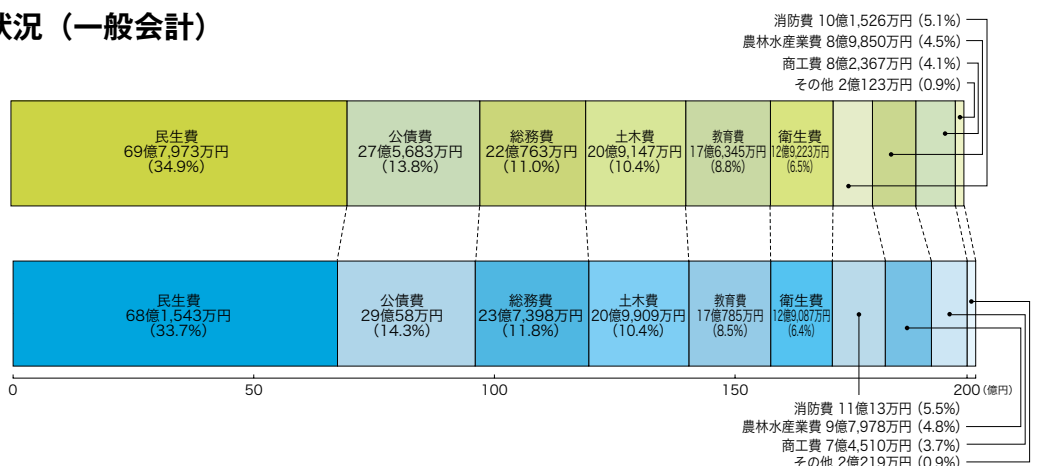
●歳入の状況（一般会計）



●歳出の目的別分類の状況（一般会計）

平成25年度
総額
200億3,000万円

平成24年度
総額
202億1,500万円



●各会計予算規模

区 分	25年度	24年度	増減額	増減率	
一般会計	200億3,000万円	202億1,500万円	△1億8,500万円	△0.9%	
特別会計	国民健康保険特別会計	76億1,670万円	79億 370万円	△2億8,700万円	△3.6%
	後期高齢者医療特別会計	5億9,677万円	5億9,301万円	376万円	0.6%
	介護保険特別会計	43億6,595万円	41億7,364万円	1億9,231万円	4.6%
	温泉配給事業特別会計	4,609万円	3,992万円	617万円	15.5%
	唐船峡そうめん流し事業特別会計	2億2,694万円	2億2,804万円	△110万円	△0.5%
	公共下水道事業特別会計	15億5,226万円	11億5,225万円	4億 1万円	34.7%
小 計	144億 471万円	140億9,056万円	3億1,415万円	2.2%	
水道事業会計	11億8,769万円	11億4,179万円	4,590万円	4.0%	
合 計	356億2,240万円	354億4,735万円	1億7,505万円	0.5%	

●市税の内訳

区 分	25年度	24年度	増減額	増減率
市 民 税	14億1,920万円	14億2,520万円	△600万円	△0.4%
固 定 資 産 税	20億3,850万円	20億4,160万円	△310万円	△0.2%
軽 自 動 車 税	1億1,380万円	1億 580万円	800万円	7.6%
市 た ば こ 税	2億8,300万円	2億5,000万円	3,300万円	13.2%
都 市 計 画 税	5,530万円	5,660万円	△130万円	△2.3%
入 湯 税	9,100万円	9,300万円	△200万円	△2.2%
合 計	40億 80万円	39億7,220万円	2,860万円	0.7%

●市民一人当たりの予算（一般会計）

市の平成25年度一般会計当初予算の総額200億3,000万円を平成25年1月1日現在の人口43,550人で計算した市民一人当たりの予算額は、次のとおりとなっています。

特に、児童・高齢者・障害者の福祉のための予算（民生費）や、これまで施設整備のために借りたお金の返済のための予算（公債費）、そのほか、総務費、土木費などの構成比が大きく占めています。市民一人当たりの予算額は、459,931円（対前年度比729円の増）となります。



<p>市民一人当たりの予算</p> <p>459,931円</p> <p>対前年度比729円増</p> <p>※人口は、平成25年1月1日現在の43,550人</p>	<p>民生費</p> <p>160,269円</p> <p>対前年度比5,450円増</p> <p>児童、高齢者、障害者の福祉推進などに</p>	<p>公債費</p> <p>63,303円</p> <p>対前年度比2,586円減</p> <p>これまで施設整備などで借りたお金の返済に</p>	<p>総務費</p> <p>50,692円</p> <p>対前年度比3,235円減</p> <p>総務管理、財政管理、企画調整、地域振興、税務事務などに</p>	<p>土木費</p> <p>48,025円</p> <p>対前年度比342円減</p> <p>道路、公園、公営住宅の整備などに</p>
<p>教育費</p> <p>40,492円</p> <p>対前年度比1,697円増</p> <p>学校の管理運営や施設整備および生涯学習の推進などに</p>	<p>衛生費</p> <p>29,672円</p> <p>対前年度比349円増</p> <p>ごみ、し尿の処理や健康増進事業などに</p>	<p>消防費</p> <p>23,313円</p> <p>対前年度比1,678円減</p> <p>消防活動や救急業務などに</p>	<p>農林水産業費</p> <p>20,631円</p> <p>対前年度比1,626円減</p> <p>農業、林業、畜産業、水産業の振興などに</p>	<p>その他</p> <p>23,534円</p> <p>対前年度比2,015円増</p> <p>商業、観光の振興および市議会運営などに</p>

平成25年度の主な事業と予算額

市は、昨年から総合振興計画後期基本計画をスタートさせ、「共生・協働」「環境」「男女共同参画」および「健幸」の視点からまちづくりを進めています。

平成25年度予算では、基本計画を軸に市民や関係団体などとの共生・協働を通して、市民目線に立った施策と市民主体のまちづくりを目指しています。



住環境の整備のために

○ごみ処理施設維持費	1億5,975万円
○指宿広域市町村圏組合負担金	3億4,206万円
○生ごみ処理器購入補助事業費	1,600万円
○海岸漂着物地域対策推進事業費	437万円
○住宅リフォーム助成事業費	3,160万円

市民の健康・福祉・子育て推進のために

○指宿版SWC構想事業費	3,517万円
○障がい者支援費	9億5,842万円
○重度心身障がい者医療助成費	1億4,982万円
○乳幼児医療費助成費	6,122万円
○介護基盤緊急整備事業費	3,000万円

住みやすいまち並み整備のために

○道路新設改良事業費	5億2,641万円
○社会資本整備総合交付金事業費	1億5,280万円
○十町・湊土地区画整理事業費	5億5,023万円
○庁舎潟山線整備事業費	1,305万円
○渡瀬通線整備事業費	3,001万円
○都市計画マスタープラン策定事業費	903万円
○体育施設屋外トイレ新築等事業費	4,161万円



市民の安全・安心を守るために

○防災行政無線整備事業	2億538万円
○指宿地区消防組合負担金	6億96万円
○消防分団車両更新事業費	3,759万円
○安全灯補助事業費	1,239万円

教育および学校施設充実のために

○特別支援教育支援員配置事業費	1,321万円
○小・中学校施設整備事業費	4,935万円
○青少年海外派遣事業費	378万円

地域と雇用を活性化するために

○共生・協働活動支援事業費	526万円
○緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費	2,934万円



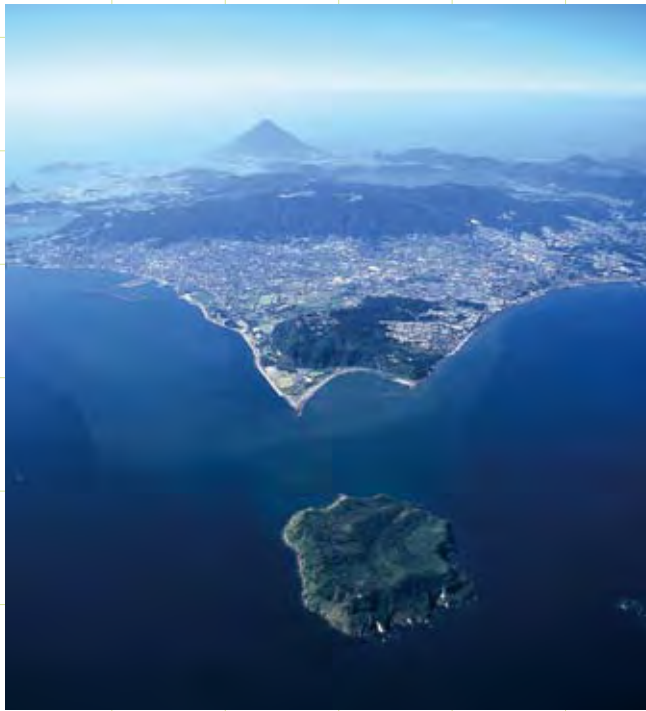
農業・水産業・観光業の振興のために

○地域特産品振興生産・販売促進事業費	489万円
○森林整備・林業木材産業活性化推進事業	1,400万円
○農業振興および農業者支援事業	958万円
○山川農業センターハウス改修事業費	163万円
○農村環境改善センター管理費	377万円
○海外まき網船かつお水揚奨励金	1,820万円
○指宿大好き体験事業費	145万円
○山川伏目塩田跡地自噴泉源改修事業費	899万円

ふるさと応援基金を活用した事業

「ふるさと納税」を財源とした「ふるさと応援基金」を活用し、ピアノやスポーツ健康器具等の購入、遊具施設を整備します。

○中学校備品購入事業	141万円
○開聞総合体育館備品購入事業	90万円
○ヘルシーランド遊具改修事業	305万円



●繰越事業

平成25年度に繰り越して行う主な事業と予算額

- 砂むしの里「交流の広場」整備事業 1億1,625万円
- 指宿版S WC構想事業 998万円
- 保育所緊急整備事業 9,532万円
- 道路新設改良事業 9,070万円
- 河川事業 1,163万円
- 十町土地区画整理事業 1億9,954万円
- 庁舎潟山線整備事業 2,124万円
- 中学校耐震補強事業 1億8,225万円

平成24年度国の補正予算（第1号）に伴い、平成25年度に繰り越して行う主な事業と予算額

- 経営体育成支援事業 764万円
- 道路ストック整備事業 1,500万円
- 十町土地区画整理事業 2,000万円
- 中学校耐震補強事業 1億1,142万円

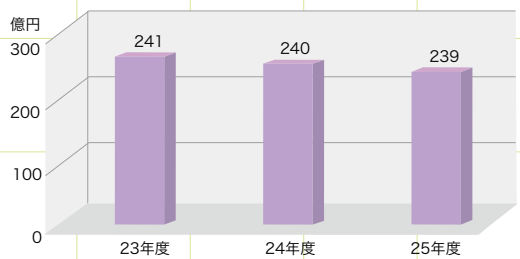
●市債残高

◎年度ごとの推移（一般会計）

区 分	23年度	24年度	25年度
市債借入額	23億4,020万円	24億3,340万円	23億1,900万円
公債費	27億8,725万円	29億 58万円	27億5,683万円
市債残額	241億6,645万円	240億8,141万円	239億9,115万円

※市債借入額、公債費は当初予算額（一時借入金は除く）
 ※市債残額の24年度、25年度は見込み額

●市債残高



●基金残高

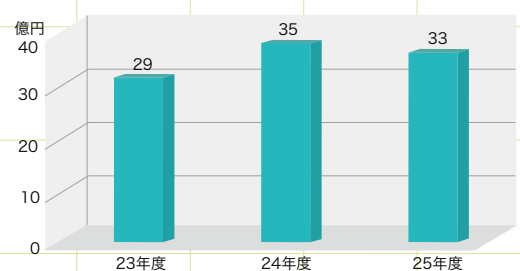
◎年度ごとの推移（一般会計）

区 分	23年度	24年度	25年度
財政調整基金	17億1,026万円	21億1,252万円	18億7,821万円
減債基金	6億6,041万円	8億1,447万円	8億1,498万円
その他の基金	5億2,879万円	5億9,765万円	6億1,586万円
その他特定目的基金	29億8,209万円	27億9,881万円	27億 260万円
合 計	58億8,155万円	63億2,345万円	60億1,165万円

※24年度、25年度は見込み額（25年度は、24年度決算剰余金を含まず。）

●財政調整に活用可能な基本残高

（財政調整基金・減債基金・その他の基金の合計）



【用語解説】

自主財源：市税、分担金および負担金、使用料および手数料など自主的に収入ができる財源で、行政活動の自主性と安定性を確保できるかどうかの尺度になるもの。

依存財源：地方交付税、国庫支出金、県支出金など、国、県から定められたり、割り当てられたりするもの。

義務的経費：歳出のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費で、極めて硬直性の強い経費。

人件費：職員給与、議員報酬、各種委員報酬、退職手当負担金など。

扶助費：生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき支出する経費。

公債費：市債の元利償還金および一時借入金利子の合計額。

投資的経費：支出の効果が資本形成に向けられ、道路建設や学校建設など将来に残るものに支出される経費。

普通建設事業費：道路、橋りょう、学校、庁舎など公共用または公用施設の新増設などの建設事業に要する経費。

物件費：消費的性質の経費で、賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、委託料、使用料及び賃借料など。

維持補修費：市が管理する公共用施設などの効用を保全するための経費。

繰出金：一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される経費。